8月10日のウクライナ情報

安斎育郎

●2014 年に起きたウクライナ騒乱-黒幕はオバマ元米大統領だった(2022 年 3 月 14 日)

※安斎注:ウクライナ戦争を考える場合、暴力に満ちた分断ウクライナの現状を考える場合、やはり 2014 年のユーロ・マイダン・クーデターをしっかりと見据えなければならない。この映像はアメリカ政府がクーデターを画策して傀儡政権づくりに乗り出した、その仕掛人や黒幕を暴いている。

https://odysee.com/@Mchan:1/ukrainian3:2

●2014 年ウクライナ軍のルガンスク市役所爆撃(2022 年 6 月 4 日)

これは爆撃直後の映像です。一般市民 8 人死亡。28 人怪我。映像要注意です。

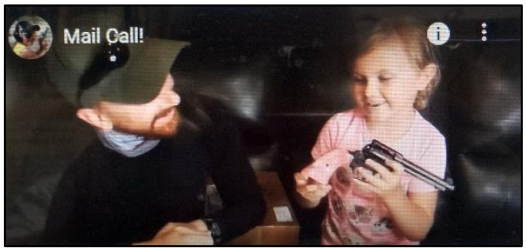
https://odysee.com/@JanoAzov:c/luhansk:1

●アメリカ・ザ・銃社会:二丁拳銃の少女(2021 年 8 月 9 日)

https://odysee.com/@PYONTAKA:3/%E4%BA%8C%E4%B8%81%E6%8B%B3%E9%8A%83%E3%81%AE%E5%B0%91%E5%A5%B3:b

※安斎注:この「オータムの武具(Autumn's Armory)」の二丁拳銃映像は、武器や防護具を販売するアメリカのフロリダの会社の宣伝映像のようですね。この少女はオータム・フライという名前で、二丁拳銃は Kel Tec P17、22 口径の弾を 16 発装填できるらしいです。重さは 306 グラムで、価格は 199 ドル(26,000 円)。女の子でも片手で使える使い勝手を宣伝しているのかも。ウクライナ戦争とは関係ないが、銃社会アメリカの恐るべき実態でもあります。下はその宣伝サイトで、写真はこの宣伝ガールとその父らしい。

https://autumnsarmory.com/



●ウクライナ軍、ドネツクを夜間攻撃(2022 年 4 月 16 日)

https://odysee.com/@BFE%E3%80%80Forum:3/%E3%83%AD%E3%82%B7%E3%82%A2_%E3%80%80%E3%82%A6%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%8A%E8%BB%8D%E3%80%81%E3%83%89%E3%83%8D%E3%83%84%E3%82%AF%E3%82%92%E5%A4%9C%E9%96%93%E6%94%BB%E6%92%83:9

●嘘は、西洋と東洋の戦争を支援するために、ひたすら西洋の世界に吐き出されている(2022 年 8 月 5 日)

Sky news のコメンテーターが同僚やゲストとの対立を覚悟の上で、もう黙ってはいられないと「ゼレンスキーの正体」を語ります。

https://twitter.com/VestnikBure/status/1555528408754683905?t=U0FBoPdsmcQOjyZ2NtHwBQ&s=09

●ベルリンでウクライナへの武器供与反対などで集会（2022 年 8 月 2 日）

ベルリンで自由と平和を求める数千人の市民達が集会を行っている。
市民達は、ワクチンの義務化に反対し、NATO を主導としたウクライナへの武器の供与に反対し、そして、Agenda2030 に反対している。
https://twitter.com/You3_JP/status/1554450142706577409?s=20&t=a--1S-qeOURYRu0qsQpPxw

●ウクライナ人捕虜のゼレンスキーへの反乱の呼びかけ（2022 年 8 月 4 日）

https://youtu.be/WLNd-DYeDb4
※安斎評：「ロシアのプロパガンダ映像だ」と言っても、捕虜の言うことには真実性が認められます。ゼレンスキーに反乱を起こせ、戦争には行くな、兵士は降伏しろ…、なかなか思い切った証言です。

●ウクライナ捕虜が語るウクライナ軍の実態（MoD Russia 2022 年 6 月 22 日）

ゴルスコエで降伏したウクライナ軍兵士の証言。人員不足、補給不足、司令官の任務放棄、通信不能。
https://youtu.be/yLKpIiKiJfw

●ポロシェンコ前大統領の「非平和的ウクライナ戦争論」（2022 年6月15日）

ウクライナ前大統領ペトロ・ポロシェンコ、ドイツのテレビに「ウクライナもロシアも非プーチン化」と。
https://youtu.be/B46N59gHiBg

●ラブロフ、「欧米が停戦合意を禁止した」（2022 年 7 月 26 日）

欧米が停戦合意「禁止」と主張　戦闘長期化巡りロシア外相

871　　7/26(火) 23:45 配信　KYODO

訪問先のウガンダで記者会見するロシアのラブロフ外相＝26日、エンテベ（ロシア外務省提供・ロイター＝共同）

ロシアのラブロフ外相は26日、ウクライナでの軍事作戦について、3月に停戦でいったん合意しかけたのに、欧米が介入して「ウクライナに合意を禁じた」と主張、戦闘長期化の責任は欧米側にあると批判した。タス通信などが伝えた。

●ウクライナのゼレンスキー、戦争終結に向け習近平と「直接」協議模索（2022 年 8 月 4 日）

ウクライナのゼレンスキー大統領（写真）は、ロシアとの戦争終結支援を求めるために中国の習近平国家主席と「直接」協議する機会を模索していると明らかにした。キーウで 7 月撮影。ウクライナ大統領府撮影（2022 年 ロイター）

ウクライナのゼレンスキー大統領は、ロシアとの戦争終結支援を求めるために中国の習近平国家主席と「直接」協議する機会を模索していると明らかにした。香港の英字紙サウスチャイナ・モーニング・ポスト（SCMP）が 4 日、インタビューの内容を伝えた。

同紙によると、ゼレンスキー氏はロシアに対する大きな政治的・経済的影響力を持つ中国に戦闘を終わらせるよう働きかけたい意向。

「中国は非常に強力な国家だ。政治的、経済的にロシアに影響を与えることができる。国連安全保障理事会の常任理事国でもある」と述べたという。

※安斎評：このニュースはどの程度に信憑性があるだろうか？アメリカが最も嫌がるエンディング・マーチのようにも聞こえる。この戦争の終わり方について、「宗主国」アメリカと真剣に対峙する姿勢はないということだろうか？

●ゼレンスキーは現代の皇帝ネロか？～問われる指導力の欠如（WION,2022年8月7日）

https://youtu.be/GjxjXBe7kgY

※安斎注：ファッション雑誌『ヴォーグ』誌のモデルを務めるゼレンスキーとゼレンスカヤに飛び切り厳しい言葉でその「不適切ぶり」を綴っています。

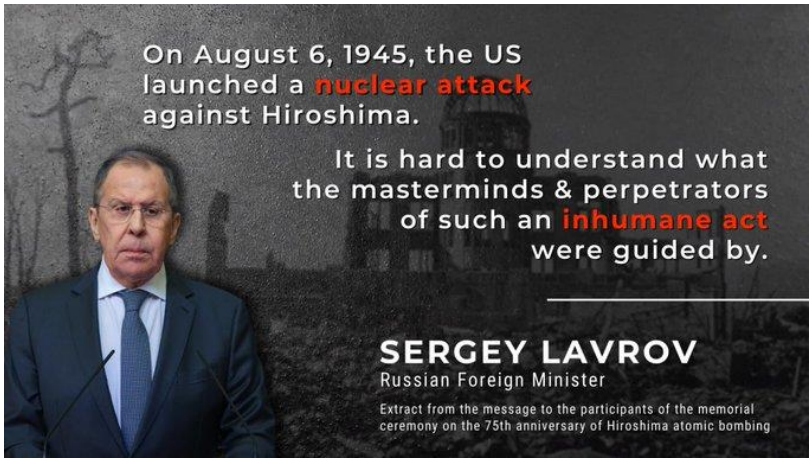
●広島・長崎原爆についてのラブロフ外相の談話（2022年8月7日）

「連合国合意の一環として行われたソ連軍の極東進撃は、中国と韓国を解放したばかりでなく、日本に戦争継続の意思を断念させました。

こうした状況下で行われたアメリカによる核爆撃は、実のところ力の示威であり、一般市民を使った核兵器の実地試験にほかなりません。」

※安斎評：言っていることはまったくその通りだ。アメリカは巨億の金をかけた原爆開発の成果を実践で証明する必要があった。当時日本は疲弊し尽くしていたし、戦闘能力も極端に低下していた。原爆を投下する必要など、軍事的には何もなかった。アメリカは戦場と化した日本を「人の上に原爆を投下する実験の適地」と見なしたまでだ。そうした非人道的な原爆投下まで体験した国が原爆投下国アメリカの「子分」に成り下がり、核兵器廃絶にも自由にもの

を言えない国になっていること、その根本が1952年4月28日にサンフランシス平和条約と同じ日に日米安全保障条約が結ばれたことに起因することを日本の主権者はよ～く認識しなければならない、映画監督のオリバー・ストーンは「日本には素晴らしい文化もあり知識人もいるが、唯一の問題は『主権がないこと』だと言った。正しい!!事実上、アメリカの属国なのだ。



「このような非人間的な行為の首謀者、加害者が何に導かれていたのか、理解するのは難しい」と書いてありますが、原爆投下は、戦後の覇権を見すえてのアメリカのデモンストレーションであり、マンハッタン・プロジェクト(原爆開発計画)の成果のデモンストレーションであり、原爆の効果の実証実験であったことは疑いないでしょう。

●参政党の街頭演説(2022年6月13日)

https://odysee.com/@hanedanews:c/%E3%83%A1%E3%83%87%E3%82%A3%E3%82%A2%E3%81%8C%E6%95%99%E3%81%88%E3%81%AA%E3%81%84%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%82%92%E5%90%AB%E3%82%81%E3%81%9F%E5%9B%BD%E9%9A%9B%E6%83%85%E5%8B%A2%E3%82%92%E3%82%8F%E3%81%8B%E3%82%8A%E3%82%84%E3%81%99%E3%81%8F%E8%A9%B1%E3%81%97%E3%81%BE%E3%81%99:f

※安斎評:「ウクライナ戦争はロシアが悪いんだけど、それはその通りなんだけど、背後にいる NATO やアメリカにも責任がある」。ちょっと歯切れが悪いんだが、そう主唱する。参政党は当初泡沫と思われていたが、今回の参院選挙(全国比例)で 1 議席(神谷宗幣氏)を獲得し、”政党”に昇格した。同党綱領には「先人の叡智を活かし、天皇を中心に一つにまとまる平和な国をつくる」と掲げる新しい右派保守政党で、「憲法改正、靖国参拝、国防力・防衛力強化、神社崇敬、移民受け入れ反対、外国人参政権反対」などを唱える。

●ゼレンスキーは西側メディアで「描かれている通りではない」～ 西側メディアが報じ始めたウクライナとゼレンスキーの実像(Sky News/Fox News, 日本語字幕つき、2022年8月8日)

※安斎注:一部既送の映像ですが、ウクライナとゼレンスキーの実態を西側報道が暴き始めたことをまとめて知るには良いでしょう。
https://www.youtube.com/watch?v=3Bq8a_VKBSo